

「三重×エシカル“ミエシカル”」 ～地域や社会を動かす一歩に～

みなさんは普段、どんなものを買いますか。

私たち消費者は、日々、買い物をして食べものや暮らしに必要なもの、サービスを手に入れています。

最近、「エシカル消費」という言葉をよく見かけます。

毎日の私たちの買い物が、世界の未来を変えるとしたら？

エシカルな消費とは、どんなものを選び、どんなものを買うことなのでしょう。

今回は、Mブリッジ エシカル推進チームの取り組みについてご紹介します。

「エシカル消費」でどんなことが応援できるでしょうか。

具体例の一部を見てみましょう。



※認証機関は他にも多数あり、これらはその一側です。
生物多様性民間参画ガイドライン 第2版(平成29年12月8日 環境省公表) http://www.env.go.jp/nature/biodic/gl_participation/download.html

出典：消費者庁リーフレット「エシカル消費ってなに？」

▶[kivi soap]
人と環境にやさしい
パームオイルフリーの石けん。
第4回オンライン
商品レビュー会より
(2021年11月)



▶ベジタブル×ワッフル
「ベジッフル」の製造。

「エシカル消費」とは？

※エシカル(ethical)＝倫理的な・道徳的な

エシカル消費※とは、地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動です。私たち一人一人が、社会的課題に気づき、日々の買物を通して、その課題の解決のために、自分で何ができるのか考えてみることに、これが、エシカル消費の第一歩です。私たちが商品・サービスを選択する際に、「安心・安全」、「品質」、「価格」だけでなく「エシカル消費」という基準も大切です。

引用：消費者庁パンフレット「みんなの未来にエシカル消費」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標(SDGs)の 12番目は「つくる責任 つかう責任」

2015年9月の国連総会で決められた国際的な17の目標のなかにも、貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的な社会などと併せて、「持続可能な生産・消費形態の確保」が掲げられています。

引用：消費者庁 エシカル消費特設サイト

<https://www.ethical.caa.go.jp/>

もっと
知りたい人は
こちら！

Mブリッジ エシカル推進チームが考える エシカル消費とは

私たちが考えるエシカル消費とは、「未来に寄り添う気持ちをもった消費」です。

多くの方が、何気なく電気・ガス・水道を使い、欲しい商品を探しにお店に行きます。あって当たり前だからこそ、それらがどこでどんな風に作られ運ばれてくるのかまで考える機会はありません。でも、どの選択も社会や地域に関係しています。だからこそ、その裏側にあるストーリーを考え積み重ねていくことが、今を生きる私たちと、これから担う子どもや孫の世代まで豊かな社会を残せる選択肢だと思います。この三重県には数え切れないほどのエシカルなものがある。ぜひ1歩立ち止まり、「エシカル」な視点で商品・地域を見つめてみてください。

「三重×エシカル“ミエシカル”」

商品のエシカル目線で選ぶことが
地域や社会を動かす大きな一歩に。

エシカル推進チームの活動名
Miethical(ミエシカル)

松阪市日野町788カリオンプラザ3F

TEL:0598-23-8400

MAIL:miethical.m@gmail.com

WEB:<https://ethical.m-jimdo.com/>

Facebook @ethical.m

エシカル推進チーム

Twitter @mbridgeares

エシカル推進チーム

Instagram @ethical_miethical

ミエシカル～三重からエシカル情報の発信&通販～

YouTube Miethical エシカル で 検索

【お話を伺った人】

特定非営利活動法人 Mブリッジ

エシカル推進チーム
統括マネージャー

やす はら とも こ
安原 智子さん



Mブリッジ

松阪市を拠点に活動。コミュニティビジネス、CSRの推進、出版、デザイン、NPO会計など、専門的な知識と技術を持つメンバーが、それぞれのスキルやノウハウを活かして事業を展開。そのなかの事業のひとつにエシカル推進チームがあります。

三重の「エシカル」を発信！

Mブリッジのエシカル推進チームは、講師、イベント出展WEB「ミエシカル」の運営など、エシカル消費を広める活動をしています。安原さんがエシカル推進チームを立ち上げた2012年、まだ「エシカル」という言葉もあまり浸透していなかった頃に、県内でいち早く「エシカル」に着目した活動をはじめました。

安原さんが三重でエシカルを広めたいと思ったのは、中学時代の3年間を海外で過ごした経験からでした。三重に帰ってきて改めて気づいた地元の良さ。身近だからこそ、その魅力に気づかないということがあるのでは？という想いから、地元の魅力を改めて「エシカル」という切り口で紡ぎ伝え、共感し受け継いでいくことを目指してきました。

2012年三重のステキ発見♡
観光ガイドブック「Miethical(ミエシカル)」発行



エシカルの切り口から三重の魅力を伝えます。
北部版と南部版があり、新しい三重の観光を紹介。

2013 年三重の好物を巡る旅エシカルツアー
～みんなで見学！工場見学！～



エシカルな企業を見学し、商品がどんな想いでどのように作られているかという背景を知るツアー。

そして、2020年度からは独立行政法人環境再生保全機構の助成金を得て、「エシカル消費の啓発活動事業」消費者にできる身近なSDGsとして伝え広げる「」が始まりました。今回はその3つのプロジェクトについてご紹介します。

広めよう！
エシカル消費①

買い物に新しい視点を

第4回オンライン商品レビュー会 ～ヤシマ真珠編～

有限会社ヤシマ真珠(伊勢市)

真珠養殖で有名な伊勢志摩。2020年12月に開催された商品レビュー会では、英虞湾の豊かな海で育まれた真珠を使ったアクセサリをデザイン・販売しているヤシマ真珠の担当者からお話を聞きました。



真珠養殖のお話や、パールのアクセサリがつくれる背景を知って、消費者代表でもあるモニターが「三重県版 エシカルチェックリスト」を用いて、いかにエシカルであるかをチェックしました。お話を聞いたモニターからは「真珠がエシカルな商品だと知って驚きました」という声もありました。

YouTube

オンライン
エシカル商品
レビュー会
毎月、紹介する
商品がかわります。
過去のレビュー会も
チェック！



パールのピンブローチを
使ってみました！

モニター感想

- 友人の結婚祝いにもおススメな値段だと思いました。
- 普段の洋服や帽子につけてみたら可愛くて、意外と普段着にも使えるんだと思いました。真珠への考え方が変わりました。

商品レビュー会とは

モニターが三重のエシカル商品を利用し、企業担当者から商品のストーリーを聞いたうえで、商品のエシカル度をチェック！レビュー会の様子を配信しています。レビュー会を通して、商品の背景を考え、エシカルの視点で商品を選ぶきっかけにつながることを期待しています。

▼アコヤガイに真珠核を入れるところ ▼パールのピンブローチとネックレス



核入れ後、アコヤガイは海の中へ戻され、育っていきます。真珠養殖は自然に近い形で、育つ。人が寄り添いながら管理します。



ヤシマ真珠[WEB]
<http://yashima-pearl.com/>

ヤシマ真珠では時代のニーズに合わせて、気軽に身に付けられるようなパールジュエリーを提案。三重の伝統工芸や産業とコラボし、真珠産業の後継問題や地域活性化にも取り組んでいます。

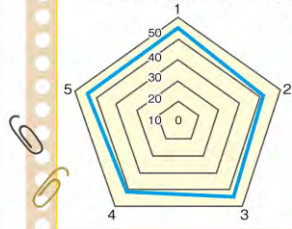
伊勢志摩の真珠がエシカルなわけ

真珠養殖は環境に配慮された持続可能な産業ということもあり、2017年には「鳥羽・志摩の海女漁業と真珠養殖業—持続的漁業を実現する里海システム—」が日本農業遺産に認定されました。

天然真珠はすべての貝に入っているものではなく、偶然の産物として希少なものであることから、アコヤガイの乱獲が危惧されていました。真珠養殖は天然資源の減少を防ぎ、真珠産業を持続可能なものにしていくという点から伊勢志摩の真珠はエシカルであるといえます。

また、ジュエリーの多くは地球内部で長い歳月をかけてできた鉱物や化石であり、採り尽くせば枯渇してしまいます。「真珠養殖は人が育てられる時間スケールの中で採り続けることができるジュエリーである」というお話も印象的でした。

エシカルチェックリスト総括～ヤシマ真珠様～



- 1.ローカルメイドであること
- 2.人や環境に配慮していること
- 3.地域社会に役立つ仕組みがあること
- 4.働きやすい職場で作られ、売られていること
- 5.三重県内の歴史・伝統・文化を未来につなぐものであること

「三重県版エシカルチェックリスト」

チェックリストは製造元・生産者にとっては、よりよい商品の向上につながり、消費者にとっても、エシカルな商品を選択するうえでものさしとなるものです。2017年に有識者のアドバイスを日本エシカル推進協議会の監修を得て、これを作成しました。

対象:どなたでも

エシカルに興味のある方や企業のSDGs担当者におすすめ。また受講後はエシカルナビゲーターとしてエシカル推進チームの活動への参加が可能です！

受講料¥1講座2,200円

配信方法オンデマンド配信

1回の講座を2週間配信し、24時間いつでも視聴いただけます。

ワークシートを提出すると講師よりコメントがフィードバック！

お申込み方法

エシカルの専用サイトからお申込みください。



<https://miethical-navigator2021.peatix.com/>

ミエシカルナビゲーター講座2021

くらしと地域が幸せになる

ローカル×エシカルな選び方

受講生募集中！

1講座のみの受講も可能！



	講座タイトル・講師	配信期間
第4回	私たちのくらしは地球環境を変える 佐野正和氏／三重森林インストラクター会 副会長	2021/12/18(土)～12/31(金)
第5回	サステナブルな「これからの伝統」のつくり方 川西洋介氏／株式会社宮忠 常務取締役	2022/1/1(土)～1/14(金)
第6回	使う人も、作る人も、地域も元気になる商品のつくり方 鈴木恵子氏・吉田みやこ氏／JA多気郡興伊勢えごま倶楽部	2022/1/15(土)～1/28(金)
第7回	エシカルなお金の流れ方～社会をめぐるやさしい循環～ 青木雅生氏／三重大学人文学部 教授	2022/1/29(土)～2/11(金)
第8回	SDGsとエシカル消費～みんなの行動が社会をよくする～ 青木雅生氏／三重大学人文学部 教授	2022/2/12(土)～2/25(金)

開催。今後の講座についてご案内します。

今年度は11月から2月までの全8回

「エシカルって？」から県内での具体的な取り組み事例まで、幅広く知ることができます。毎日の買い物の中でエシカルを選択し、自分の生活に取り入れるヒントを伝えています。

隙間時間に学ぼう
オンラインエシカル講座
開設プロジェクト

さまざまな認証ラベルたち

日々の中で何気なく買っているものを
サステナブル・ラベルで
選んでみよう!

FSC® (森林管理協議会)※
Forest Stewardship Council®



適切に管理された森林からの木材や、適格だと認められたリサイクル資源から作られた商品に付けられるマークです。

認証対象品目
紙製品(ノート、トイレトペーパー、ティッシュ等)、木製品(建材、家具等)

GOTS (オーガニックテキスタイル世界基準)
Global Organic Textile Standard



オーガニックの繊維製品の認証マーク。有機栽培(飼育)の原料から環境と社会に配慮し加工されたことを示す。

認証対象品目
繊維製品全般(洋服・寝具・ベビーカー・糸・布・コットンパフ・タオル など)

OCS※
Organic Content Standard



原料から最終製品までの履歴を追跡し、その商品がオーガニック繊維製品であることを証明する。

認証対象品目
繊維製品

RSPO
(持続可能なパーム油のための円卓会議)
Roundtable on Sustainable Palm Oil



パーム油の生産が熱帯雨林や生物の多様性、人々の生活に悪影響を及ぼさないように持続可能な原料を使用、又はその生産に貢献した製品であることを示す。

認証対象品目
洗剤、石鹸、食用油

※認証原料の含有率などにより、ラベルにいくつかのパターンが存在するものもあります。

サステナブル・ラベルとは

持続可能な原材料調達や環境・社会的配慮、生物多様性等につながるさまざまな国際認証ラベルをより多くの方に知っていただくために、日本サステナブル・ラベル協会が命名した総称です。

一般社団法人
日本サステナブル・ラベル協会(JSL)
Web <https://jsl.life/>

他にもどんなラベルがあるか調べてみよう!



広めよう!
エシカル消費③

家庭から“もったいない”を考えよう
食品ロス削減プロジェクト

食べられるのに捨てられてしまう
野菜とお米を有効活用した商品開発!

消費の課題でもある「食品ロス」。エシカル推進チームとサポーターが食品ロスを考えるきっかけにと、企画・開発した商品「にこっとベジ丸」。また、今年10月に販売が始まった新商品「ベジフル」を紹介します。



ベジフル×ワッフル
「ベジフル」

さつまいもやかぼちゃ、ほうろ草などの色々な野菜の味が楽しめるワッフルクッキー。

◀「にこっとベジ丸」
2021年3月に発売。野菜の甘みと米粉のもっちり感が楽しめるアレルギーフリーなお団子。



新商品!

こちらの商品は地場野菜を販売する「JAみえなか」から提供される廃棄野菜と、県立明野高等学校が生産する「結びの神」の規格外の小米を米粉にしたものを主原料にして作られています。食品ロスを減らす観点から新たに材料を足すのではなく、あるものだけを活用して作ることにこだわりました。何度も試作を重ねながら、誕生した商品です。「ベジ丸」はサツマイモなどの冬野菜をベースに作られていましたが、「ベジフル」はその季節の野菜を使用できるので、1年を通して製造・販売が可能になりました。

通販サイト
にエシカルで
ベジフルを
販売中!

「ベジフル」を買って
食品ロスに貢献しよう!



「食品ロス削減プロジェクト」サポーターのみなさん。飲食店経験者や料理好きのメンバーが集まって、商品の試作から製造作業に携わっています。



廃棄野菜の提供。



高校生と一緒に商品の試食。

みんなでつくる～パートナーシップ～

地域の企業や学校のほかに、社会福祉法人ベテスタより施設の調理場を製造場所として提供していただいています。さまざまな機関と連携・協力し、なるべく食品ロスを出さない社会を目指しています。そして消費者が商品を購入することで食品ロス削減に貢献し、社会のエシカルな仕組みを支えることにつながっていくのです。

家庭で食品ロス削減を実践!
～残った野菜使っちゃおうレシピ～動画配信

レシピ考案から調理・撮影もやっています!



地域に根ざすエシカル

エシカル推進チームは、これまで三重のさまざまなエシカル商品を紹介してきました。地域の生産者や産業、伝統工芸を支援する商品や、自然や環境に配慮した商品、就労支援など人につながる商品。このような人や環境、地域社会に配慮した商品が、三重にはまだまだあるといえます。

まだ知られていない三重のエシカルな取り組みや商品を探すため、エシカル推進チームは、いつもアンテナを張って情報収集に努めています。また人と対面することがむずかしくなったコロナ禍でも、オンラインでの配信に挑戦し、動画を撮影・編集してSNSを通じた情報発信を続けています。地域のエシカルを消費者に伝え届け、商品を買っていただく。地域に根ざす活動から、ものと人をつなげていくのです。

安原さんはこれからについて、「エシカル」のものをさしを持つ人を増やしていくことを目指して、活動を続けていきたい」と話してくれました。

今回ご紹介した、地域に根ざしたエシカルは、三重に暮らす私たちにとって、親しみやすく大切にしたいものです。そして、地域社会の課題を知って、その課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行っていくことが、私たち消費者にできることです。こういった私たちの一つひとつの声や行動の積み重ねが社会を変えていくことにつながっていきます。まずはみなさんの身近にあるエシカルを知り、暮らしの中に取り入れることから始めてみませんか。

令和3年度の「環境学習みえ」では4回にわたり、エシカル消費について特集してきました。あなたの買い物が世界の未来を変えるという、大げさなことのように捉えられるかもしれませんが、でも私にできることをやってみよう!と感ずるきっかけになることを願っています。

写真提供

Mブリッジ エシカル推進チーム

エシカルを暮らしに取り入れよう

12 三重県環境・文化・観光局

